

福田寺だより

発行

55

神奈川県小田原市飯田岡二五七

飯田山 恒福 田 主 36-27

住職 橋本尚信

『東寺創建一千二百年慶讃大法会』

平成 七年 十一月 八日 ～ 二十一日

真言宗総本山教王護国寺（東寺）は、来る平成七年に創建一千二百年を迎えます。これに際し、東寺並びに東寺を本山とする東寺真言宗では数年前より慶讃大法会の計画を進めています。いよいよ二年後に控え、準備にも熱が入ってまいりました。東寺は、延暦十三年（七九四）桓武天皇が京都に平安京の造営をはじめ、間もなく創建されました。それから約三十年後の弘仁十四年（八二三）嵯峨天皇が空海（弘法大師

）にゆだねられた寺です。千二百年の昔、空海がこの東寺を真言密教の根本道場として活躍してから今日に至るまで、弘法大師信仰は様々な形で庶民に受け継がれ、救いと成ってきました。四国八十八カ所巡礼や、高野山の入定がそうです。それらの根本がこの東寺であり、空海が何を考え何を成そうとしたのかも、この東寺に秘められているように思います。このように真言密教の末徒にとり大切な東寺が、今創建千二百年を

迎えようとしているのです。

大法会の期間は、平成七年十一月八日より二十一日までの二週間で、主な行事は、桓武天皇御国忌、嵯峨天皇御国忌、弘法大師御影供、各堂宇完成報告等の法要、歴史的建造物である灌頂院での仏と縁を結ぶ結縁灌頂、いけばな展、茶会、陶芸展、各種イベント等、盛りだくさんな催し物が予定されています。又、この期間に末寺寺院は本山参拝の団参計画をすすめることとします。不肖私も内局の一人として、勧募や実行委員会やらで大師の恩徳に報いるべく、働かせて頂いております。

二年後の大法会には、檀信徒の皆様そろって本山参拝の団参に参加されますよう、今から御案内申し上げます。

新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

一月八日午後一時より修行

記

真言密教には、病気を主に他のあらゆる苦しみから逃れる手段として薬師如来を奉り、一切の苦難の原因を取り除く護摩供養が、千数百年の間連綿と受け継がれています。

人間の心底からの願い、悩み、苦しみを、真正面から受け止めてくださる仏様、それが薬師如来さまであります。現実を肯定する密教において、自分をさらけだしておすがりできる仏様です。

福田寺の本尊は、この薬師如来さまで、古来よりその靈驗は近在に知られております。新年恒例の薬師護摩供養会を下記の要領で修行いたしますので、護摩ご希望の方はお申し込みください。檀家以外の方でも勿論結構です。

期日・・・一月八日、午後一時より

祈禱料・・・三千元

祈禱内容・・・厄難消除（厄よけ）

身体健全、病魔退散、学業成就、

家内安全、交通安全、安産祈願、

業運繁栄、所願成就、他

申し込み・・・一月七日まで、電話可

平成六年厄年

男性

前厄 昭和二十九年生まれ

本厄 昭和二十八年生まれ

後厄 昭和二十七年生まれ

女性

前厄 昭和三十八年生まれ

本厄 昭和三十七年生まれ

後厄 昭和三十六年生まれ

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職により新年の御祈禱が修法されますので、ご自由に初詣下さい。尚、年賀等一切不要ですので念の為。

暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは、寺の者に連絡してください。